

北海道での図書館とがん相談支援センター 連携プロジェクトについて

国立がん研究センターがん対策情報センター
八巻 知香子

がんは2人1人、 でも、なっちはじめて…

- 「頭は真っ白」になった
- 「がん」はもう治らない？
- 病院のペースで治療が進んでいく…、本当にこれでいいの？
- これを飲めばがんが消えた！ 本当？

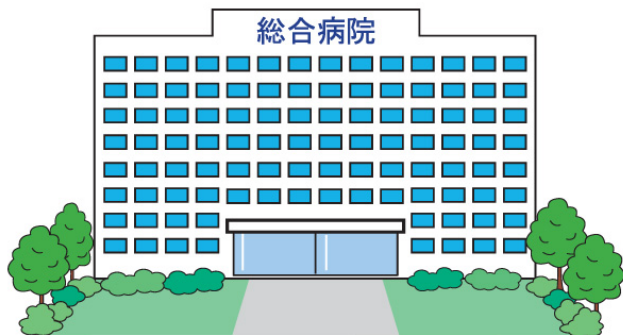


がんについて正しい情報が必要とされている

情報がまだ届いていない、困っている人がいる

がん相談支援センターとは・・・

全国に設置された、誰でも無料で相談できる窓口
「がん診療連携拠点病院」、「小児がん拠点病院」
「地域がん診療病院」等に設置されている



困ったことや不安なことがあれば



がん相談支援センター

にご連絡ください

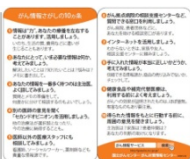
2006年2月に誕生！

がん診療連携拠点病院

全国どこでも質の高いがん医療が受けられるように
厚生労働大臣が指定した施設。

現在進められている日本のがん情報提供ネットワーク

患者さん、ご家族、一般国民の方



情報提供

国立がん研究センター
がん対策情報センター
情報編集・情報評価

意見・提案

相談・
情報提供



病院

拠点病院以外の
医療機関

連携

情報収集・提供

研修、診療支援
情報提供

436施設*

情報
提供

情報収集

学会・
研究機関

厚生労働省

民間企業・
NPO

都道府県

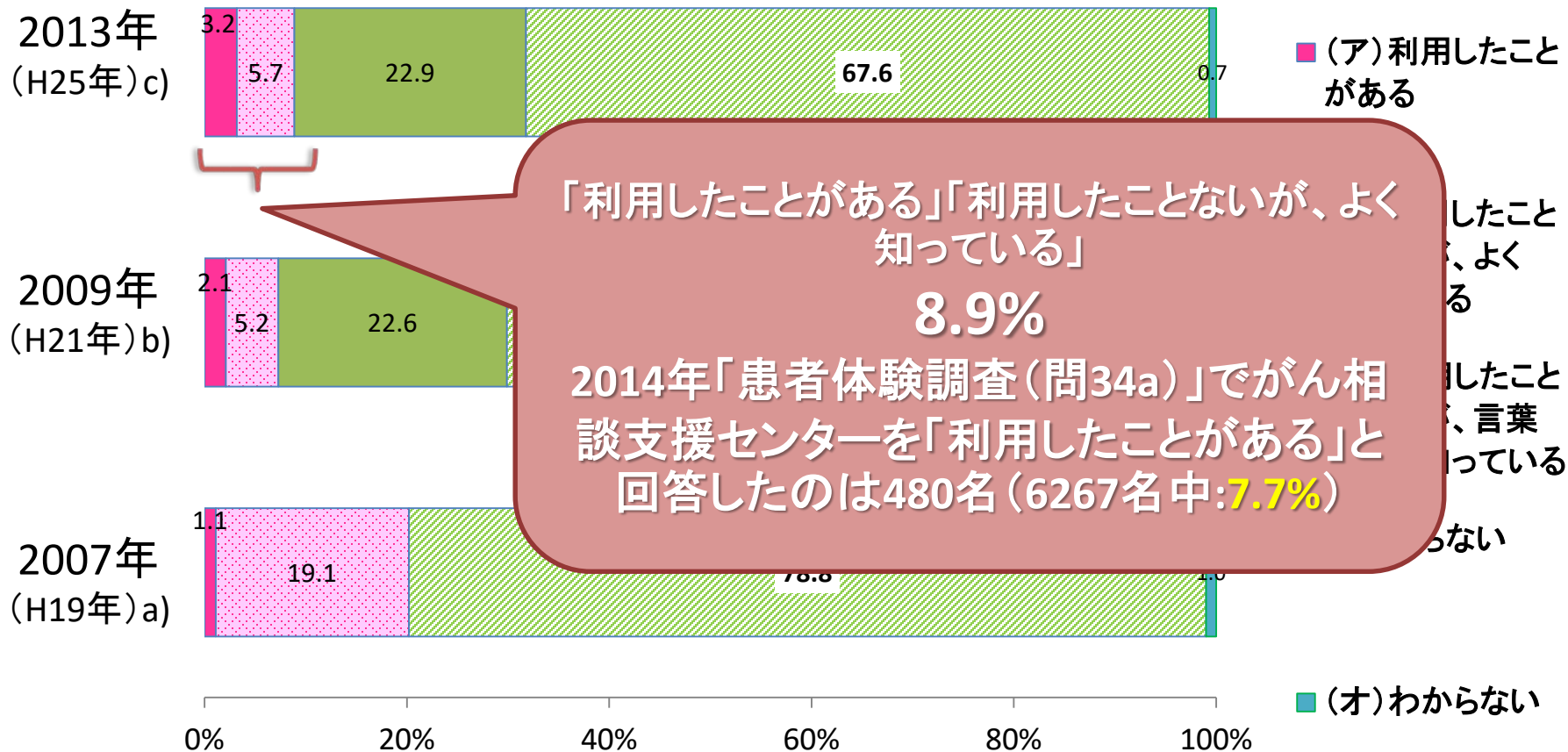


がん相談支援
センター

がん診療連携拠点病院
都道府県がん診療連携拠点病院等

各都道府県

一般市民の「相談支援センター」の認知度 経年推移



- a) 全国20歳以上の者、層化2段無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。3000人抽出、有効回収数1,767人(58.9%)
- b) 全国20歳以上の者、層化2段無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。3000人抽出、有効回収数1,935人(64.5%)
- c) 全国20歳以上の者、層化副次(3段)無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。4000人抽出、有効回収数1,233人(30.8%)

注) H19年世論調査では、(イ)「利用したことはないが、知っている」となっている。また(ウ)「利用したことはないが、ことばだけは知っている」の選択肢はない

出典 a)「がん対策に関する世論調査(平成19年9月調査)」。内閣府大臣官房政府広報室。<http://www8.cao.go.jp/survey/h19/h19-gantaisaku/index.html>

b)「がん対策に関する世論調査(平成21年9月調査)」。内閣府大臣官房政府広報室。<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-gantaisaku/index.html>

北海道の がん相談支援センター

- 国が指定する21箇所、道が指定する27箇所
- 2次医療圏ごとに設置が原則だが、札幌に集中し、空白医療圏も多数



院が厚生労働大臣から指定さ

拠点病院では、専門的ながん診療の連携協力体制の整備の相談支援や情報提供を行っています。




「診療病院」は、がん院がない医療圏に推薦のもとに国が指定。拠点病院と連携がん医療の提言情報提供を行って



北海道がんサポートブックP2 より

医療・行政・公共図書館との連携の魅力

医療機関からみると・・・

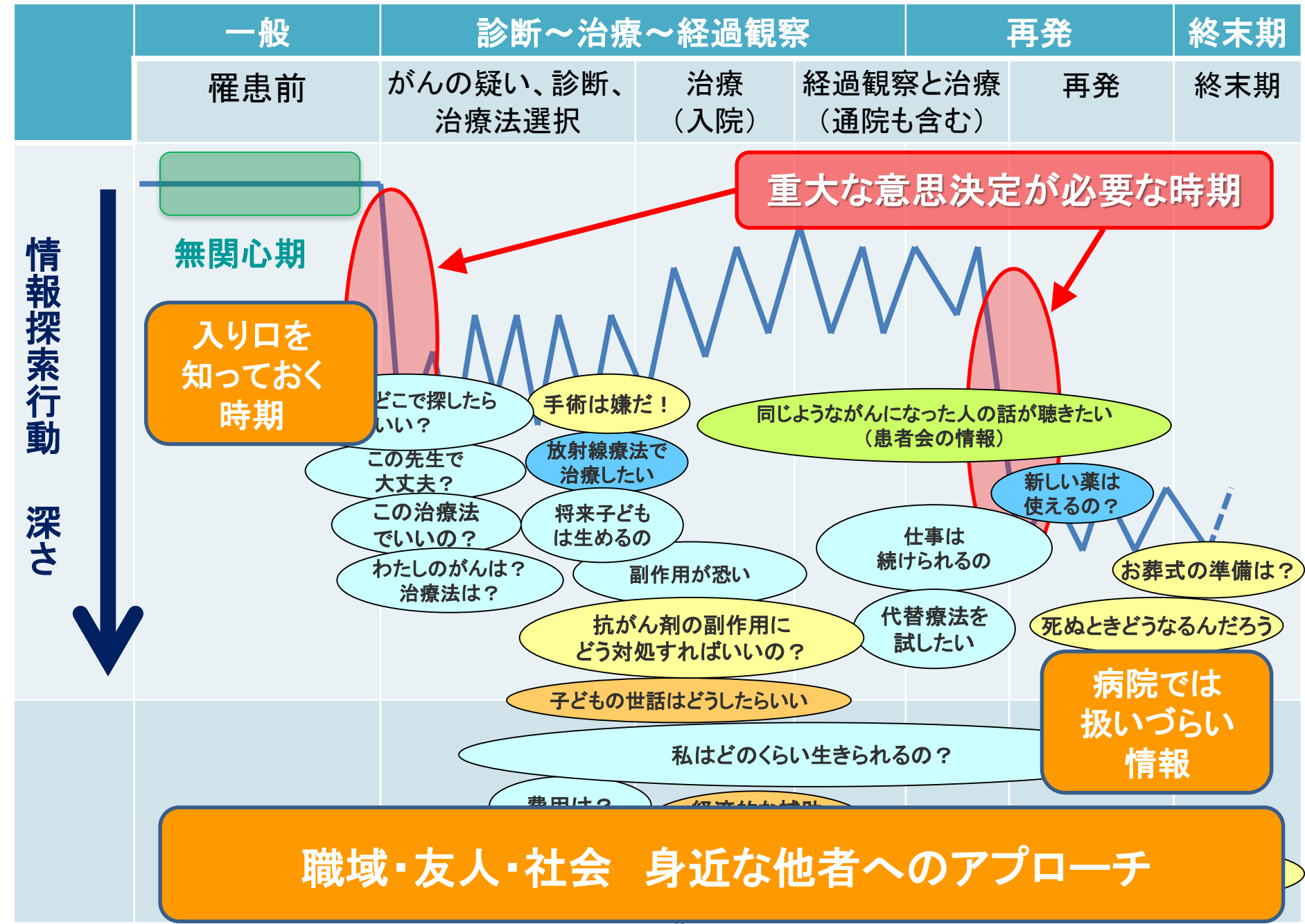
- 元気な人が生活の中で来る場所
  病気になって初めて訪れる病院
- 小さな町村にも
  基準を満たすがん診療連携拠点病院は偏在
- 社会教育施設としての様々な可能性
  医療機関でできることの限界

図書館からも・・・

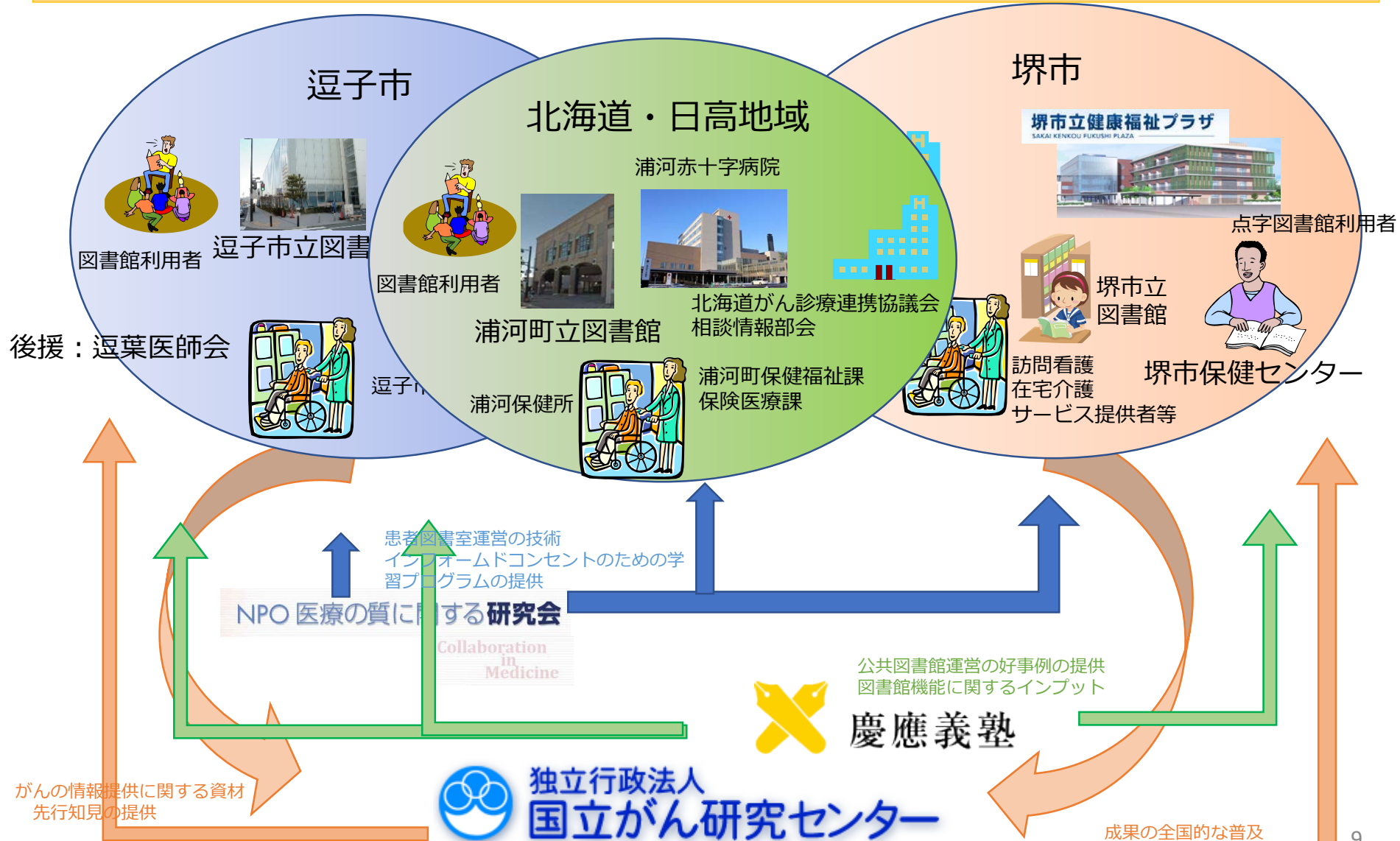
- 扱いづらい医療情報についての方針を整理する場
- レファレンスで答えられない医療や病気についてのリファー先の確保

ぜひ、その地域や担当者の感覚にあう、無理なく楽しめるアイデアと仲間のつながりを持ち帰ってください。

人の医療情報に対する関心の程度と情報探索行動



国立がん研究センター「継続的なワークショップ運営による 情報弱者向けがん情報ツールの作成と普及」 事業班への参加から（H26-28年度）



北海道での取り組み

- 2015/1 北海道がん診療連携協議会 情報相談部会で協力を打診
- 2015/4 北海道がんセンター、王子総合病院、苫小牧市立病院の皆さんと共に浦河町保健福祉課、浦河町立図書館の担当者の方と打ち合わせ

⇒詳しくは続く事例報告にて

各地のがん相談支援センター & 図書館連携PRイベント例

楽しみながら考えてみる
がんになってもあきらめない人生を送るコツ

「幸せを運ぶ予言屋のタラシー」上映、(約20分)
 もしもがんになったら・・・後悔しないためには？
 最善選択の愉快なDVDです。

がん相談支援センターの紹介
 癒えるがんの相談窓口をわかりやすくご案内します。

映画「最高の人生の瞬間」
 ハリアフリー映画
 「最高の人生の瞬間」が上映。
 ショック・ニコルソン、モーガン・フリーマン、ケム・ワタナベ、ロブ・ライナー監督、命をかけた二人が満天の星空を飛行する感動映画、日本初上映、音声ガイド付き。

がんに関する相談
 がん相談支援センターの相談が無料です。お気軽にご相談ください。心は強くなります。

がん情報コーナー
 がん相談支援センター、まちライブラリーコーナーの設置が、がんに関する最新情報を提供します。

まちライブラリーコーナー
 平成28年11月10日(土)午後1時～4時 場所: 風保健文化センター1階
 定員: 約100名(先着順)
 申込: 平成28年10月10日(土)午後10時～
 電話: 072-271-2032 FAX: 072-271-3002
 *申込受付、予約筆記、音声ガイド付き。
 風保健文化センター 〒593-8325 堺市西区 風 南 4丁 444-1
 JR阪和線「風 駅」から南東600m、南海高野線「東 家 駅」から南東約1.5km
 南海本線「東 家 駅」からバスで西淀川区「東 家 駅」下車、南150m

みなさま、はじめまして。
 がん相談支援センターです。

がん相談支援センター
 がんについて
 いろいろな

あるある
 カフェ

あるあるカフェ1月14日市民講座用ビデオ_0106

ここは「あるあるカフェ」

「健康男
 体にいいこと、全部試しました！」

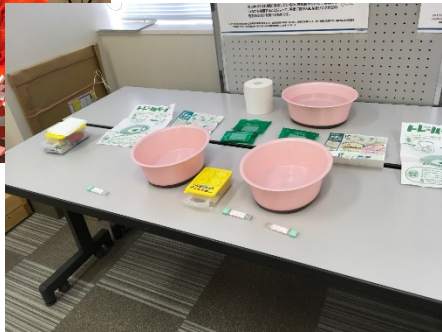
健康男
 A.J.ジェイコブズ／著
 はんまのりこ
 本間徳子／訳

健康や医療について
 図書館におたずねください
 健康・医療に関する本もあり

498

持っただけでいい
 持ち帰る本

図書館でしばしば行われる映画鑑賞会 + a (豆子、堺)



栄養科の協力展示 (堺)

検診をちょっと体験 (堺、日高)

各地のがん相談支援センター & 図書館連携PRイベント例

飯塚市立図書館まつり（2016年10月29日）

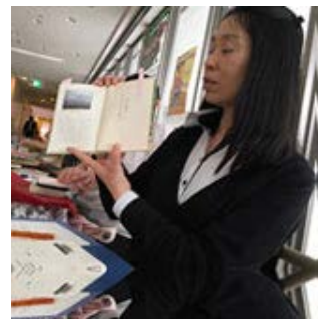
福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会
相談支援ワーキンググループ 筑豊ブロックとして参加



地区の図書館との連携会議『がん情報普及の会』を定期的に行う。飯塚市立図書館まつりで相談ブースを設け、一日楽しく広報に努めることができました。

ブックdeトーク(堺)

- 呼びかけは“健康や病・障害についての本を紹介しましょう”
- 病気について面と向かっては語りにくい人も本の紹介なら着かず離れず紹介できる
- 紹介された本のテーマは、病・障害・病院・健康・がん治療から般若心経まで。
生活の中で生死を語ることもできる場



患者会と図書館・図書コーナーの コラボレーション例



2017年(夏)
合同イベント開催カレンダー

堺がん患者会「よりそい」さんとのコラボ企画として、『ひといきでよいそい』を毎月開催いたします！

「ひといきのミニ図書館」と、「よりそいのがんサロン」を同時に開きます。サロンにはピアサポーターの方も常駐していますので、がんについてちょっと気になること、わからないことなどがあれば、どなたでも気軽にお尋ねください。

まずは、夏にかけての開催予定イベントをご紹介します♪
※内容や開催日を変更する場合があります。(その際はお知らせいたします。)

6/24 「ひといき」てづくりくらぶ
(土) 「ハーブを使って・・・」
時間：10時30分～12時



ハーブを使った身近な癒しにほっこりしてみませんか？
(どんな内容になるかは、ハーブの成長具合によって決定します)
※材料費：100円(先着20名)

7/26 「ひといき」てづくりくらぶ
(水) 「タオルでつくる帽子」
時間：10時30分～12時30分

タオルを使って帽子を作ります。暑い夏にぴったり！
※材料費：未定(先着20名)



8/25 「ひといき」おはなし会
(金) 「おはなしどんとん」
時間：11時～11時30分
14時～14時30分

読み聞かせのおはなし会を開催します！
内容は・・・おたのしみ♪
※参加無料



堺市が支援し、堺市立総合医療センターを拠点とするがん患者会「よりそい」の集まりを、堺市立健康福祉プラザ内の情報コーナー「ひといき」で定期的実施

「ひといき」には、堺市立西図書館からの団体貸し出しの書籍が配架されている

がん患者サロン案内

がん患者サロン

仲間と会いに
来てみませんか？

がん患者サロンは、がん患者・家族・医療関係者などに関心のある人達によって「集い」を目的に開催です。国や県内各地に広がる市民活動の場として、病気の理解や悩みを分かちあう場として活動しています。お悩みや不安を解消し、心をつなぐ場として活動しています。病気の理解や悩みを分かちあう場として活動しています。お悩みや不安を解消し、心をつなぐ場として活動しています。

県内各地の病院にてサロン開催中!!	
<ul style="list-style-type: none"> ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町) ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町) ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町) ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町) ● 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町)

県内のサロンもあります

- 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町)
- 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町)
- 和歌山県立総合医療センター (和歌山 西宮町)

がん患者サロン

「わ」

※お茶を飲みながら、ゆっくりとお話してみませんか？

お気軽にお断しください。

日時 毎月第3金曜日 14時～15時

場所 和歌山県立医科大学附属病院内
2階 相談室(スターボックス前)

主催 地域連携室-がん相談支援センター
連絡先: 073-441-0778(直通)

和歌山県立医大
+和歌山県立図書館
+ NPO法人「わ」

サロン開催場所には
県立図書館も

コラボレーションチラシの例

対策型がん検診が行われている5種のがんについて機関連携でチラシを作成
(カラー版/色紙への白黒印刷)

@堺。市立図書館がリーダーシップをとり更新!

行政担当

図書館担当

がん検診をうけるには

胃がんは進行の程度に関わらず、症状がまったくない場合もあり、早期の段階では無症状であることがほとんどです。早期にがんを発見し、適切に治療することで、がんによる死亡のリスクを軽減できます。検診を定期的に受けましょう。堺市では、胃がん検診を40歳以上の市民を対象に各保健センターで実施しており、年度に1回、自己負担額500円(満65歳以上は無料)で受診できます。日程等の確認と予約は各保健センターまで。障害等をお持ちで検診に不安のある場合は、ご相談ください。

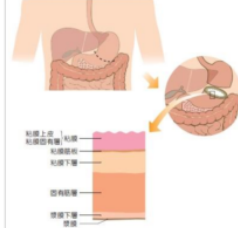
堺市の保健センター	
堺保健センター	Tel 072-238-0123 Fax 072-227-1593
ちめが丘保健センター	Tel 072-241-6484 Fax 072-247-3201
中保健センター	Tel 072-270-8100 Fax 072-270-8104
東保健センター	Tel 072-287-8120 Fax 072-287-8310
西保健センター	Tel 072-271-2012 Fax 072-273-3646
南保健センター	Tel 072-293-1222 Fax 072-296-2822
北保健センター	Tel 072-258-6600 Fax 072-258-6614
美原保健センター	Tel 072-362-8681 Fax 072-362-8676



科学技術コミュニケーション推進事業
機関連携推進事業・ネットワーク形成
型「継続的なネットワーク運営による情報弱者向けに情報」と普及」事業班
提案機関：
国立がん研究センター
参加機関：
堺市
堺市立健康福祉プラザ

胃がんとは・・・

胃がんは、胃の壁の最も内側にある粘膜内の細胞が、何らかの原因でがん細胞になって、無秩序に増殖を繰り返すことで生じます。大きくなるに従ってがん細胞は胃の壁の中に入り込み、外側にある漿膜(しょうまく)やさらにその外側にまで広がり、近くにある大腸や膵臓(すいぞう)にも広がっていきます。



国立がん研究センターがん情報サービス がんの検診「胃がん」より引用

【胃がんの原因】
胃がんの発生には、喫煙や食生活などの生活習慣やヘリコバクターピロリ菌の持続的な感染が関連していると言われています。高塩分食品の取りすぎや、野菜や果物の不足に注意などの配慮が大切です。

【胃がんの治療】
胃がんの治療は、がんの進み具合で決まりますが、手術が最も有効で標準的な治療です。早期胃がんの場合、その根治率は90%以上です。定期的な受診を受けることや、胃の痛みや不快感など症状が続くときには早めに医療機関を受診して検査を受けることが早期発見につながります。

※さらに知りたい場合は、右記の資料をご参照ください。

音訳版も!

ウェブサイト

○ 国立がん研究センター がん情報サービス
<http://ganjoho.ncc.go.jp/public/index.html>

各種のがんについて、がんとの向き合い方、診断・治療方法、緩和ケアについて、病院検索など、さまざまな情報を調べることができます。

○ 大阪府立成人病センター がん情報提供コーナー
<http://osaka-gan-joho.jp/>

大阪府のがん診療の状況や、がん診療拠点病院に関する情報などを紹介しています。病院の検索もできます。

○ 大阪がええナビ
<http://www.osaka-anavi.jp/>

患者・家族・遺族と患者会支援団体、がんに関わる医療者らにより設立された、がん情報の総合的なポータルサイト。大阪府下の幅広いがん情報を配信しています。

がん相談支援センター

がんに関することから、誰でも、どんなことでも相談できる、がんの相談窓口です。

○ 大阪労災病院
月～金曜日:8時15分～17時00分
堺市北区長曾根町1179-3
TEL:072-252-3561 FAX:072-255-8203

○ 堺市立総合医療センター
月～金曜日:9時00分～17時00分
堺市西区家原寺町1-1-1
TEL:072-272-1199 FAX:072-272-9911
*手話通訳者がいます

拠点病院担当

点字図書館

点字図書館についての情報など

トップ > ご利用方法 > 資料・館内サービスセンター > 点字図書館 > 独立ページQ&A

点字図書館トップページ

独立ページQ&A

点字図書館へようこそ

各種お知らせ
堺市よりヘルプカードのお知らせ(テキスト)
第1.3回堺市障害者スポーツ大会のお知らせ(テキスト)
文化芸術祭(テキスト)

見えにくい・見えにくい

リーダース版

各種リーフレット・ちらし
劇集のリーフレット(テキスト)
読書支援センターリーフレット(テキスト)
高齢者のための点字(テキスト)
生活用必須情報のちらし(テキスト)

点字・録音商品の借出

点字・音訳と取寄せ

がん関係リーフレット
短冊はがきがん情報(テキスト)
正しく知る。胃がんリーフレット(テキスト)
正しく知る。腸がんリーフレット(テキスト)
正しく知る。子宮がんリーフレット(テキスト)
正しく知る。乳がんリーフレット(テキスト)
正しく知る。大腸がんリーフレット(テキスト)

相談請求

ブックリスト (西図書館選定) まちライブラリープラザひときき・堺市立図書館でご利用いただけます

胃がんでどんな病気

○【胃がん】 第3版 国立がん研究センター がん対策情報センター 2015年2月
国立がん研究センターがん対策情報センター発行の小冊子。受診から診断、治療、経過観察の流れをまとめたもの。上記ホームページからは墨字版と音声版(旧版)がダウンロードできる。また、堺市立健康福祉プラザ内、視覚・聴覚障害者センターには点字版もある。

○【最新版 胃がんのすべてがわかる本】 矢沢サイエンスオフィス/編 学研パブリッシング 2013年6月
胃がんとその予防・診断・治療についてくわしく解説。患者や家族が予備知識をもって治療にのぞむことができるように、胃がんの治療ガイドラインの内容を網羅。胃がんの疑問に答えるQ&Aも掲載。

胃がんの治療について

○【患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版】 国立がん研究センター がん対策情報センター/編者 学研メディカル秀潤社 2015年10月
がんの診断や治療、療養生活で問題や不安が生じたときに必要とされる情報をまとめたガイドブック。がん対策情報センターのホームページからは墨字版と音声版(旧版)が無料でダウンロードできるほか、電子書籍が利用できる。堺市立健康福祉プラザ内、視覚・聴覚障害者センターには点字版もある。

○【胃がん手術後の生活読本 早期回復のための食事ケア 退院後の生活と健康管理】 佐野 武/監修 主婦と生活社 2013年12月
胃がんの手術を受けた人と家族のための生活読本。手術後の補助化学療法、後遺症を抑える食生活、退院後の生活と健康管理、再発・転移への備えと治療など、手術後の不安と疑問にわかりやすく答える。

○【イラストでわかる胃がん・大腸がん 手術後の食事・生活、再発・転移の防ぎ方】 浦山 雅弘/監修 法研 2012年10月
手術後・退院後の体調管理、食生活、心のケアなどの生活処方に重点を置いて解説。化学療法の対処法、後遺症への対応、医療費についても紹介。堺市立図書館のホームページからは電子書籍も利用できる。

○【がん研有明病院の胃がん治療に向きあう食事 術前後の不安を解消します】 比企 直樹/監修 女子栄養大学出版部 2015年7月
胃がん治療をしている人に向けて、術後の症状、ライフスタイルに合わせた食事療法をきめ細やかに紹介。

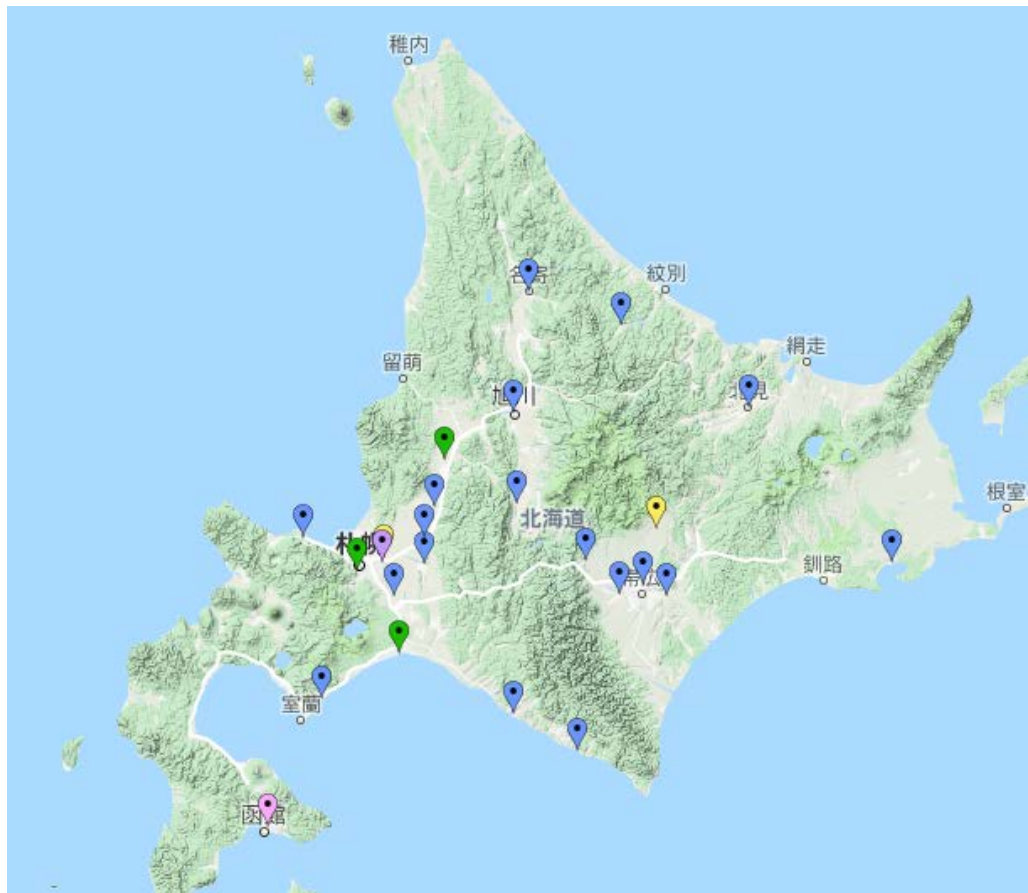
○【胃がんの闘病記】
患者本人、家族、職場、医療機関など様々な立場の人が、がんについてどう考え、行動したのかを語る。

○【わたしも、がんでした。がんと共に生きるための処方箋】 国立がん研究センターがん対策情報センター/編 日経BP社 2013年9月
患者本人、家族、職場、医療機関など様々な立場の人が、がんについてどう考え、行動したのかを語る。

まちライブラリープラザひときき: 堺市堺区丘ヶ丘町4-3-1 堺市立健康福祉プラザ4階 TEL 072-275-5027 FAX 072-243-2222
堺市立図書館: 堺市西区南町4-44-1 TEL 072-271-2032 <http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>

がん情報ギフトプロジェクト

国民の皆様からの寄付で、がん情報を身近な図書館へ



国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で全国の図書館に信頼できるがんの冊子をお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。

国立がん研究センターがん情報サービス ganjoho.jp



本プロジェクトをがん相談支援センターの周知や地域での情報提供のための連携一つのきっかけとしてご活用ください。

2019年9月末時点で、全国270箇所、北海道内には23箇所を寄贈

「北海道がん対策推進計画」

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(2) 相談支援、情報提供

- 道は、道、拠点病院等や関係団体が開催する各種イベントや患者団体との意見交換の場などを活用しながら、市町村医療機関、患者団体、民間企業等と連携して情報の共有に努めるとともに、道のホームページを中心として、がん患者や家族を含めた道民が必要とする正しいがん情報の効率的・効果的な提供に取り組みます。
- 拠点病院等は、がん患者やその家族に対し、**医療機関以外の場においても、がんに関する正しい情報が得られるよう図書館などと連携した情報提供に取り組みます。**

